

アクレカッブ 本庄軽one耐久シリーズ2026 ドライバースフリーフィング資料

1 ※注意事項 ※赤文字及び緑文字は特に重要項目になります。必ずご確認をお願い致します。

- ①練習・予選・決勝中、コースインする際のスタッフの誘導はありません。各自で安全確認をして頂きコースインして下さい。
- ②パドック内でのバックギアの使用は禁止となります。
- ③ピットアウト出口にあるイエローラインをまたいででの走行は禁止です。(大会規則書にてご確認下さい。)
- ④服装はレーシングスーツもしくは長袖・長ズボンの作業ツナギを着用して下さい。
- ⑤ピットロードは20km/h以下厳守の徐行で走行して下さい。
- ⑥ドライバー交代エリアからコース入口までは10km/h以下厳守の徐行で走行して下さい。
- ⑦コースインをする優先順位があります。※⑤～⑦パドック図にてご確認下さい。

2 ※旗の説明

黄旗	全ポストで提示 ※前方に危険箇所あり、無理な追い越しは禁止
赤旗	メインポストで提示 ※練習・予選中 走行中断。全車ペースを落としピットイン、各自パドックに戻り待機 ※決勝レース中 走行中断(コース内で重大事故発生)⇒先導のセーフティーカーに続き、コース上ストレートにて待機
緑旗	メインポストで提示 ※練習・予選走行およびレースの再スタート
黒旗	メインポストで提示 ※車両トラブル(液体漏れ・エアロパーツ破損など)、ルール違反など レコードライン外を通り、各自のパドックへ戻りスタッフの説明を受けて下さい。
チェッカー	メインポストで提示(練習・予選中) ・ ブリヂストンゲート下で提示(決勝レース中) ※走行終了
黄旗	メインポストで提示 ※車両停止やクラッシュ車両の回収、液体漏れ処理などのトラブル発生時 黄旗+SCボードが提示された場合、セーフティーカーがコースに入ります。 黄旗+SCボードの前を通過した車両は追い越し禁止、1列になり隊列を整えセーフティーカーの後ろに続いて下さい。 <u>セーフティーカーがコースに入っている場合、黄旗+SCボード前を通過していない車両はピットイン可。</u> <u>1度でも黄旗+SCボードの前を通過した車両はピットイン不可。</u>
+	SCボードが出た時にピットインしていた車両は、コースインのタイミングはスタッフが誘導を行います。
SCボード	コースの処理が終わり次第、先頭のセーフティーカーがコース出口からピットインをします。 その週のブリヂストンゲートからレース再開となります。※メインポストにて緑旗が提示されます。 ※セーフティーカーがピットイン後もスタートライン(ブリヂストンゲート下)手前は追い越し禁止です。 <u>※セーフティーカーがピットに入った周と同時にピットインする事は禁止です。(ペナルティ対象)</u> レース再開の合図の緑旗が振られる前の加速、またブリヂストンゲート手前での他車の追い越し、 隊列をみだす行為をしたとみなされる車両はペナルティ対象とする。
●	ブリヂストンゲート下で提示 ※決勝レーススタート スタートライン(ブリヂストンゲート下)までは追い越し禁止

3 ※決勝レースのスタートについて

- ①12時00分～12時40分間にメインストレート上のスタート位置に車両移動(手押し可)
開始3分前 ⇒ スタートドライバー以外の方は速やかにパドックへ ・ 開始1分前 ⇒ エンジン始動
※グリッド整列終了時間までにグリッドに付けなかった車両はピットスタート(日章旗を振ってから3分経過後にコースイン可)
- ②フォーメーションラップ中は、前の車両と車間距離をなるべく空けないようにしてください。
フォーメーションラップは30km/h以下での徐行とします。
レースのスタートは、先頭のセーフティーカーがコース出口からピットインした周に
ブリヂストンゲート下で日章旗が提示しレーススタート。
フォーメーションラップの隊列があまりにも整っていない場合は、もう1周フォーメーションラップを行います。その際は、黄色旗が振られます。
**スタート合図の日章旗が振られる前の加速、またブリヂストンゲート手前での他車の追い越し、
隊列をみだす行為をしたとみなされる車両はペナルティ対象とする。**

4 ※音量規制について

音量規制は90dbなります。超えている場合はサイレンサーを装着して頂きますのでご注意ください。

スタッフから注意を受けたチームは、速やかに対策を行なって下さい。

音量が気になるチームは、予め対策を行ってから走行をお願いします。

5 ドライバーチェンジについて

走行中はドライバー交代エリアでのみドライバーチェンジが可能です。**車両のエンジンは必ず停止して下さい。**

ドライバーチェンジが終了次第コースイン可能です。**※他チームの発進を妨げる行為は禁止です。**

ドライバーチェンジは5回以上を義務とする。

ドライバー交代場所でのエアチェックや車両補修、その他の作業行為は一切禁止です。

作業を行う場合は、コースINし1周回って各自のパドックに戻って行なって下さい。

ドライバー交代場所から各自のパドックに戻ってしまった場合、ペナルティ対象になりますのでご注意下さい。

同一ドライバーの連続走行時間に制限はありませんが、

ドライバーチェンジ回数満たない場合、1回不足につき10周ずつリザルトより減算あります。

ドライバーチェンジエリアが全て埋まっていた場合はピットロードにて待機、バックやピットスルーは禁止です。

ドライバー交代後は、交代場所に居るスタッフに必ず申告をして下さい。申告をしない場合は回数にカウントされません。

ドライバー交代エリアは、交代時以外は滞在を禁止とする。※交代が済み次第速やかに退去をお願いします。

6 タイヤ交換について

決勝レース中はバースト又はパンクなど予期せぬ状態に限り交換は可能です。※ローテーションは禁止とする。

交換の際は、メインポストオフィシャル立ち合いのもと作業を行い、

10分間のピットストップ(この間のタイヤ交換の作業は可)を行う事とする。

7 ピットサインエリアについて

当日お渡しをする「ピットサインエリアパス」を首から下げている方のみ

ピットサインエリアに入場出来ます。(各チーム1名のみ)

ピットサインを出しドライバーが確認が取れた場合は、速やかにピットサインエリアから退去を心がけて下さい。

8 レース中の注意事項

①コース走行中にコース入口からパドックに戻る行為やコース内での逆走及びドライバー交代エリアからパドックに逆走は禁止とし、違反行為を行った場合は違反により失格とする。車両トラブル時も同様になります。

②クラッシュをした際にオフィシャルが車両の確認や修復が必要だと判断した場合は

ピットイン及び各チームのパドックエリアにて車両の確認が必要となります。

※なお、セーフティーカーが出る原因を作ったチームについては、車両の状態にかかわらず

必ず各チームのパドックエリアに戻り車両の確認を行わなければならない事とする。

③計測器(トランスポンダー)本体をレース中に脱落(自車のクラッシュや他車からの接触が原因の場合も含む)

させてしまった場合には使用している各チームの責任とし、その時点でのレース結果(DNF)とする。